

平成29年度 第10回西日本放送番組審議会

開催年月日 平成30年3月6日(火) 14:00～16:00
開催場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名

高	嶋	克	洋	委員長
河	藤	明	子	委員
大	倉	美	恵	委員
小	槌	和	志	委員
守	家	祥	司	委員
森	下	聖	史	委員

欠席委員の氏名

佃	昌	道	委員
鈴	森	賢	委員

社側の出席者

中	村	卓	朗	(代表取締役社長)
富	永		久	(取締役総務局長)
吉	岡	邦	男	(相談役)
中	川	洋	一	(営業局長)
采	野	友	啓	(ラジオセンター長)
小	野	修	一	(報道制作局長)
吉	田		剛	(報道制作部長)
伊	達	典	子	(報道制作)

事務局

山	本	博	司	(報道業務部長兼事業部長 兼放送審議室長)
和	家		剛	(編成業務部長)
香	川	豊	宏	(編成業務部兼放送審議室)
山	本	峰	子	(放送審議室)

平成29年度第10回番組審議会議事次第

開催日 平成30年3月6日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

〔議 事〕 議事進行 高嶋克洋委員長
社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議題 テレビ番組
『 NNNドキュメント' 18
生きて、咲く ～瀬戸の少女とハンセン病～ 』
2. 質疑応答

〔参考資料〕

- 視聴者対応 12月・1月
- 民間放送（新聞）3月3日
- 月刊民放 3月

〔次回開催予定〕

開催日 平成30年4月17日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL 087-826-7241

議 題 テレビ番組 『 食レポビンゴ！！ 』

放送日 平成30年3月17日（土）16:00～16:55

制 作 RNC西日本放送テレビ

※後ほど番組DVDをお送りする予定です。

以上

議事概要(3/6) 第10回

今回は、テレビ番組『生きて、咲く〜瀬戸の少女とハンセン病』を視聴していただきました。委員の皆さまからは、

- ・これからは大島のハンセン病を番組にしていくなかで、代わりになる語り部がいないと、ハンセン病の話は深刻なので、番組が作り難くなるように思うが、引き続き取材を重ね、より良い番組を作っていただきたいと思う。
- ・この番組は何回見ても素晴らしい内容だと思う。長かったものを30分にまとめようとしたために、隙のないギュッと詰まったものになっており、内容もよくて、画像も非常に美しく、この番組に関しては、私は何も問題がないと思う。
- ・交流の場面や当事者の方たちの声を生かす方向で進められており、ナレーションの藤澤さんの、とても透明感のある声で優しいナレーションであった。
- ・重く苦しいテーマであるが、茉莉花さんの純粋な目を通して見た大島の現実とハンセン病の歴史は、視聴者に理解されやすく、伝わりやすいと感じた。
- ・少女と患者とが今まで過ごした写真や映像にその関わりをいれることにより、少女の目に映ったハンセン病の問題や患者さんたちとどう関わってきたかを垣間見ることができた。時折流れる四季の景色は、悲惨な過去を少し和らげていく効果があったのではないかな。
- ・前作と今回の違い、何が言いたかったのかが、若干見えてこなかったことを残念に思った。等の意見がありました。

制作者側からは、ローカルの場合は、近所のよく知っている地域の人たちに思ったことを伝えればよかったのですが、全国放送となると、驚くほどハンセン病のことが知られていないことにびっくりしてしまいました。ですから、最初から説明が必要なので、ハンセン病の負の歴史などをコンパクトにシンプルにまとめなければならなくなりました。ナレーションですが、瀬戸の優しい海を感じを出してもらうために高松出身で透明感のある藤澤恵麻さんをお願いしました。恵麻さんに合うように、文章が少なく、優しい感じで緩急をつけない、とてもいい感じで読んでいただきました。『生きて、咲く』の咲くは「生きて腐る」と言われた人たちが、私たちに人が人として教えてくれているんだよということを伝えなかったのですが、咲くは、昔の言葉で笑うという意味もあったということで、そのような希望をタイトルに込めました。ただそれがわかったという人とわからないという人がいたので、タイトルをどう具現化するかが次の課題です。旨が述べられました。